

NIBF

公益財団法人 日本舞踊振興財団

Information

No. 60

2022 SUMMER

目次

- ◆名手訪問／対談 今田 美奈子氏
(洋菓子研究家 / 食卓芸術家)
- ◆日本舞踊誌上講座／日本舞踊の歴史を振り返る⑧
東京大学文学部 名誉教授 古井戸 秀夫
- ◆役員会等の動き、役員等名簿
- ◆令和三年度 正味財産増減計算書
- ◆特別会員芳名
- ◆NBF 活動報告・行事予定

名手訪問

《対談》

●今田 美奈子

(洋菓子研究家 / 食卓芸術家)

●西川 均

(公益財団法人 日本舞踊振興財団 業務執行理事)

[敬称略]



(於:新宿高島屋4階「サロン・ド・テ・ミュゼ イマダミナコ」)

西川 本日はお忙しい中お時間をお作り頂きありがとうございます。早速ですが、先生は1971年、36才の時に初めてスイスの国立の学校でお菓子を学ばれたのですよね。

今田 はい。当時フランスには国立の製菓学校がなく、スイスにはリッチモンド州立製菓学校がありました。36才の時に、日本のお菓子の業界が本物の洋菓子をそこへ学びに行くという日本で初めての1か月の研修を主催するという話を友人から聞きました。アメリカのパイや洋菓子が日本に入って来た頃のことです。私の友人のお父さまがお菓子のメーカーの社長で、その研修の団長だったのです。私の他は皆さんプロでしたが、私は素人だけれど作るのではなくデモンストレーションを見て知識を学ぶという研修なので、大丈夫と思い、お願いをして連れて行ってもらったんです。スイスの学校では焼き菓子やチョコレートボンボンが中心の基本的な伝統のものを教えていました。一緒に行ったプロの方は、いちごのショートケーキのようなきれいな洋菓子を習えるのだと期待していたのに地味で素朴なお菓子でみんながっかりしていました。でも私は西洋

の伝統的なお菓子の本物に触れられてとても勉強になり本当に嬉しかったですね。

西川 伝統的なお菓子に共通することとは何でしょうか。

今田 発祥した国の地名の付いた地方菓子(タルトノルマンディはリンゴのタルト)、物の形から名付けられたもの(シューやトリュフ等)、また歴史上の人物が愛し、知られるようになったもの(マリーアントワネットのクグロフ等)、長い間の嗜好の変化に耐え、形と名前が受け継がれてきているということだと思います。

西川 先生はこれまでに80冊を超える本を出版されていらっしゃるんですね。

今田 日本に帰ってきてから主婦の友で、伝統菓子を目の当たりにして感じたことをお伝えし、お菓子を紹介するならその国の伝統の本物を、わかりやすく紹介するとどんどん日本に世界のお菓子が入ってくるんじゃないかしら、とお話をしたら、主婦の友は昔ながらの雑誌で主婦が対象ですから、そんな新

しい本売れるかどうかわからないけど、文庫本を出してみよう」と編集長がいつて下さり、今田美奈子の『ぶきっちゃんにも作れるケーキとクッキー』という小さな文庫本をオールカラーで出す事になりました。その文庫本がなんと売上1位になったんです。主婦にはほとんど見向きもされなかったのですが、高校生が買ってくれたんです。いつの時代も若い人が外国のものにいち早く興味を持つ、そういう感性があります。子供たちや若い世代に受け入れられることが大切なのだ学びました。講談社から依頼の『お菓子の手づくり事典』は、老舗の洋菓子店が何百冊と購入して下さり、全国で洋菓子を製造しだすきっかけになりました。小学館からはマンガにしようというお話を頂いて、題名と内容はマンガで作り方もイラストにするけれども、本物の名前と内容、今田美奈子のお菓子ということで本を出していただきました。そこから全国に名前が行き渡って、テレビの依頼を受けますと、放送後にお手紙を頂いたりしました。今ちょうどそのころの小学生等がリーダー世代になっているんです。

西川 スイスのあとも、海外へ留学にいらしていますが、応援して下さったお母様の存在は大きいですね。

今田 はい。最初にスイスへ行きたいと伝えた時から、母から「これからは畳の生活が洋風になる時代だから、外国で学んだ本物を日本に伝える、という意気込みで取り組みなさい。」と言われました。《本物が求められる時代がくる》と直感していたのだと思います。

西川 お菓子の教室を始められたのはいつからなるのでしょうか。

今田 昭和48年にシャンソン喫茶ジローというチェーン店の本店が渋谷にあり、その社長さんから、生徒さんを集めるのならばオープンがズラリと並んでいるので、空いている時間に設備をどうぞ使ってください。代わりにそのお菓子の内容を見せてください。との提案で始まったんです。でもだん

だんと生徒さんが増えてくると、本業の方にご迷惑が掛かるようになってしまっていたところ、原宿に出来たお嬢様たちが通うお教室の入った新しいビルにと交渉して下さって、月に1回教え始めたのですが、そこにも生徒が全国から大勢いらして下さったので、次に原宿で地下1階、地上3階のレンガ造りのビルを借り『薔薇の館』を作りました。そこに移ったのがちょうど30年位前の話です。そこからの10年15年というのが、ちょうど絶頂期だったんです。絶頂期というのは、皆さんが本物志向になったということです。お稽古事が大好きな方達が増え、様々なことに興味を持つ方が増えたので、私の本がさらによく売れました。ちょうどイギリスのダイアナ妃がご結婚された話題の頃です。ダイアナ妃のウエディングケーキを作ったのは田舎のお菓子屋さんでした。バッキンガム宮殿に飾ったケーキで20人以上の競争の中で選ばれたお菓子屋さんですが、私はそこへ本物のウエディングケーキを個人で習いに行くことができました。ダイアナ妃のケーキを作った所とって、その方は有名になっていて、昔のお菓子工場の裏に教室を作ってアメリカや各国から習いに来た人々、20人くらいを教えてお免許を与える。さあ、日本でそれを作ろうと思った時に、運命の女神の計らいでダイアナ妃が日本にいらっしゃるといことになりました。それで私はそのダイアナ妃のウエディングケーキを世界中に発信するために、その製法と図面を購入し姉妹校の契を結びました。日本で喜んでいただけるなら、とってそのオーナーのご夫妻と仲良くなりまして、ダイアナ妃のウエディングケーキを作り百貨店に展示しメディアに紹介したのです。ところが英王室のライオンマークの紋章を入れるにあたっ



て、手続きが必要。イギリス大使夫人にお会いすることが出来、ダイアナ妃来日10日ほど前に紋章使用の許可をもらうことができほっとしました。来日され、大使館でのレセプションに呼んで頂き、入り口付近で待っていたところ、10日前にお会いした大使夫人が、私の所で足をとめて、「この方はあなたのウエディングケーキまでつくるほど、イギリスのお菓子をとことんお好きで、熱心に紹介して下さる方よ」とダイアナ妃に紹介して下さり、何とダイアナ妃が握手をしてく下さり、「まあ、それは素晴らしいわ」って仰って下さいました。ほんの一言なんですけど、私はうれしくてうれしくて。本当にきれいな方でした。いろんなお姫様に会う機会があったけれど、忘れ得ぬ綺麗さでした。マスコミを通じて、映像は全国放送で流れましたので、ウエディングケーキの今田美奈子となった次第です。それでまあウエディングケーキを習いに来たいという方が殺到しました。シュガーケーキ、お祝いの日のケーキのことで。そんな時に若貴ブームが来ました。若貴兄弟それぞれの結婚式、それから三田寛子さんと中村橋之助さん、葉加瀬太郎さん、野球選手たちのウエディングケーキを作って話題になりました。それが又私の人生の絶頂期です。すぐ消える話題ではあるのですけど。心のどこかに残るインパクトがあったんですね。こんな趣味あるとたのしいわよ、という風に伝わり、お菓子の先生になりたいというお嬢さんが出て来ました。もう20年位前ですね。

西川 なるほど。確かに小学生の女の子のなりたい職業は23年間パティシエ・パン屋さんが1位だというデータもありますね。

今田 私の教室にいつときでも入りたい。ちょっとでも習いたいという方が、そのころ数えたら2万人でした。そうして九州はハウステンボス、関西は大丸がブランド街を神戸に作るの、その中心に今田美奈子のお菓子教室を作るといわれ、店長が何回も原宿に誘いに見えました。北海道もガス会社に呼ばれて8年、神戸へは20年、毎月行って。それが全国になりました。ですか



ら相当なお弟子さんがいて、何十万人にもなっていたと言われます。私の人生の花のある時代のことです。それで全国にお教室を開きたい皆さんにお免状を出して、指導者となった方へはその方の生徒さんにもお免状をだし活躍してもらいました。今田美奈子の信頼を普及してくれるわけです。私がなぜ続いたかという、心があるお菓子、伝統ある本物を伝えてきたからです。本物がなぜいいかという、<anan> や <non-no> が創刊された頃、non-noの編集長が私に何か紹介してください、とのお話があり、当時はまだ珍しかったチーズケーキを紹介したんです。そうしたら途端に全国チーズケーキだらけになったんです。それで今田美奈子のページを作るとか、特集とかいろいろ仰って下さって、編集長がほめて下さったから、「私の発明ではないんです。いろんなお国が育ててきた、何世紀も続いている伝統のお菓子を日本人も知りましょうね、と思ったのです。」と言いました。そうしたら編集長が「伝統は永遠の流行です。」と仰ったんです。新しい雑誌やファッションもたくさん出てくるけれど、本物の伝統を入れ込んで新しく進化させる、だから伝統は永遠の流行なんだということでした。この言葉が私のお菓子人生を決めました。

西川 全国的美術館やホテル、有名デパートでのお菓子や食卓芸術の展覧会のお話を聞かせていただけますか。

今田 1970年代に三越の社長をなさっていた岡田茂社長さんの時代です。外商のお客様へお菓子を教えて欲しいと呼ばれたんですよ。月に一回お客様を、100名だけお招きして、「今田先生自身で教えて欲しい」と。当時、三越が話題をまいていて、お客さまが全国

から日本橋にいらっしやって、1年で1200人のお客様にお教えしたんです。伝統のお菓子にはお姫さまの物語があるんですね。それを展覧会にしてみようということになりました。お菓子の後ろにお城の写真を置いて、物語とセットで作らしましょうと。私が一人でやるわけにはいかないので生徒さんもお菓子を作って、希望の人はお名前を出すことにしました。そして宣伝部の部長さんに、会場の設営費とか材料とか人が大勢動かなくてはいけないから、他の展覧会と同じように、一枚2,000円で切符を売って、管理して、2日間でいいからビジネスとしてイベントをやってください、とお願いしました。すると部長さんは、「お菓子はもう、チーズケーキでも何でも今売ってますから、それを見るだけで、2,000円も出してイベントをやるなんて社長が許さないでしょう」と。「それならば社長に会わせて下さい。そういうアイデアは誰もやっていないから、とお会いして説明しますから。それでだめならやめます。」と言って、岡田社長に初めてお会いしたんです。そして岡田社長にお菓子のイベントをやりたいと言ったら、社長は「あなたは10万年に1人しか出ないほどのアイデアマンです。是非実行しましょう。お城の写真はカメラマンに全部撮りにいかせます。

お姫様のコメントはあなたが書いて下さい。そして入口でお菓子も売ればいい。」と喜んでくださいました。それから部長さんはすぐに実行して下さって、そして生徒も喜んで、みんなで作ってくれて2日間のイベントを成功させることができました。一日目に朝日新聞の〈ひと欄〉の取材が来たんです。新聞を皆さんが熱心に読んでる時代だったので、大盛況になりました。それからメディアの取材がいろいろ来ました。その時の部長さんは後に三越の社長になられ、百貨店協会の会長にもなられたんです。それから何十年もたって、もうリタイアなさると聞いた時にご挨拶にいきました。あのようなイベントを出来たので私のお菓子人生の運命の扉が開いたのですからね。

西川 始まりは三越だったのですね。

今田 そして、全国の有名百貨店からの依頼でお菓子の物語展覧会を次々に行き、講演等を行ってきました。そして2009年ご縁をいただき新宿高島屋4Fに「サロン・ド・テ・ミュゼ イマダミナコ」のティーサロンをオープンし現在に至っております。

次号第61号に続く

今田 美奈子 (いまだ・みなこ) 氏 プロフィール

洋菓子研究家・食卓芸術家

- ヨーロッパ各地の国立の製菓学校やホテル学校で学び「今田美奈子食卓芸術サロン」(今田美奈子お菓子教室)を主宰。
- 2003年テーブルアートでフランス国家より芸術文化勲章を受章。
- 2011年同国より農事功労章受章。
- 日本ベンクラブ会員。
- 一般社団法人「国際食卓芸術アカデミー協会」会長。
- 2009年、新宿高島屋4階にカフェ「サロン・ド・テ・ミュゼ イマダミナコ」をオープン。
- 「貴婦人が愛した食卓芸術」(角川書店)、「縁は器なもの」(中央公論新社)、「新・セブリティのテーブルマナー」(主婦の友社)、「お姫さまお菓子物語」(朝日学生新聞社)、「ファーストクラスの生き方」(イースト・プレス)、「名作の中のお菓子物語」(朝日学生新聞社)他著書90冊余り。

山姥物の系譜⑥

東京大学文学部 名誉教授
古井戸 秀夫

地歌の『山姥』は、ほぼそのままの歌詞で古曲の荻江にも伝えられました。唄の文句を書いたのは、大坂の紀海音でした。近松門左衛門の竹本座に対抗、豊竹座の作者として名を挙げた人でした。厳しい母の訓育で学問に励み、出家して禅宗の僧侶となりましたが、父の死を境に遊びを覚え、還俗して遊里とともに芝居にも入り浸り、ついには近松と並び称される作者になるのです。近松は「婦女童蒙」には難しく、海音は「田夫児輩」にも分かりやすい、というのが幕末の古老の評価でした（『浪速人傑談』）。人形浄瑠璃だけではなく、『山姥』『富士』『お染』など、芝居唄にも健筆をふるっています。海音の詞に節を付けたのは、沢野九郎兵衛、榊山小四郎、杵屋長五郎ら、歌舞伎の役者や、唄うたいや三味線弾きでした。地歌の『山姥』も、そのような人々との交流から生まれたものだったのです。

海音が主人公に据えたのは、名もなきひとり遊女でした。そこには、近松の『山姥』の八重桐のような複雑な物語はありません。夜も更けて忍んでくる男を待つ、遊女の心を謳い上げたものでした。前半は、「ふたり添い寝の長枕」にはじまる枕尽くしの文句で「括り枕のない人さんが、縁か因果か可愛らし」と謳います。後半は、「待つ宵は、三味線弾いて辛気節」と伊勢音頭になり、「よいやさ、よいやさ」と繰り返す、掛け声とともに盆踊り風の手振りを見せるのです。曲調は替わっても、訴えているのはひとつ。男の手管や嘘を恨んでも、逢えば愛しく思う女ごころでした。主人公のその思いは、数奇な運命をたどった近松の八重桐にも通じる、普遍的な女の心情でもありました。

歌詞の冒頭に引用された「山の端の心も知らで行く月は、上の空にて影や絶えなん」の

出典は、『源氏物語』で夕顔が詠んだ和歌でした。八月十五日、中秋の名月の夜、明け方近くに忍んで来た光源氏は、夕顔を「なにがしの院」に誘いだしました。夕顔は、移ろいやすい男の心を「山の端」に警え、その山の端に誘われる「月」に自分自身を見立て、浮れていると男の影は消えてしまうでしょう、と謳うのです。平安朝の貴族社会と、江戸の遊廓。時と所は替われども、恋する男を待つ女の気持ちに違いはありませんでした。紀海音は、かつて契沖に師事した国学者でもありました。平安朝の和歌や物語に重ねることで、遊里の痴話に高い格調を与えることに成功するのです。『浪速人傑談』の著者、政田義彦は「元より博識にして和歌を詠し」と海音の教養を認めるとともに、「その性、風流洒落にして戯作に妙を得」て、「ざれ歌」をも能くしたと評しました。『山姥』など芝居唄も、海音にとっての「ざれ歌」だったのでしょうか。

枕尽くしの小唄や伊勢音頭、当世風の歌謡で面白おかしく踊り戯れた遊女が最後に舞うのは能『山姥』のキリの「山廻り」でした。海音は、仕舞として「キリ」とともに人気のある「クセ」の部分を省略しました。「そもそも山姥は」とその身の上を語る内容を嫌ったのでしょうか。主人公の遊女が山姥になるのではなく、「山廻り」の仕舞を舞って戯れる遊女の姿を描こうとしたのです。そのためでしょうか、「クセ」の代わりに枕尽くしの小唄を書き下ろし、伊勢音頭を詰め込んで、遊女の思いを描き出しました。四季の山廻りと言っても、『山姥』には夏の情景が欠けています。それゆえ、同じ能の『邯鄲』のから「春は花咲き、紅葉も色濃く、夏かと思えば、雪も降りて、四季おりおりを目の前に、万木千草、一時に花咲けり、面白や」と補った

のでした。邯鄲の枕で一炊の夢を見た、廬生の姿を重ねようとしたのでしょうか。枕尽くしから伊勢音頭を経て、四季折々の夢を見るこの構成は、長唄『英獅子乱曲』（枕獅子）に受け継がれることになりました。長唄「冬の山姥」も、「邯鄲四季の所作事」の一コマとして生まれた曲でした。

上方舞、京舞、各流派に伝わる人気曲です。大坂の山村流の流祖友五郎が振りを付けた「山めぐり」は、同流の許し物になっています。同じく元祖が振り付けたものなのでしょうか、文政二年刊の『舞さらへ』には、別の『山姥』が収録されていました。流祖の

没後、北山村の跡取り娘、山村ゆきが舞ったときの評判が伝えられています（『舞子観世水』）。ひとり立ちではなく、子役の金時も踊る二人立ちで、素踊りではなく本衣裳の舞だったようです。嘉永二年版の『舞しらべ』には、二人立ちの『山姥』とともに『しゃべり山姥』という曲も収録されていました。こちらは、近松の『姫山姥』の「しゃべり」を舞踊化したものでした。かつては、江戸と同じように、京坂にも様々な山姥物の曲が伝えられていたようです。山姥物の人気の程が想像されるのではないのでしょうか。



役員会等の動き

理事会

開催年月日	議事事項	会議での結果
令和4年3月28日	第1号議案 令和4年度事業計画(案)について	書面決議により可決
	第2号議案 令和4年度収支予算(案)について	書面決議により可決
	第3号議案 資金調達及び設備投資の必要なしについて	書面決議により可決
	第4号議案 「謝金に関する規程」について	書面決議により可決
	第5号議案 令和4年度評議員会開催について	書面決議により可決
令和4年5月24日	第1号議案 令和3年度事業報告(案)について	満場一致で可決
	第2号議案 令和3年度決算報告書(案)について	満場一致で可決

評議員会

開催年月日	議事事項	会議での結果
令和4年6月13日	第1号議案 令和3年度事業報告(案)について	満場一致で可決
	第2号議案 令和3年度決算報告書(案)について	満場一致で可決

公益財団法人日本舞踊振興財団 役員等名簿

(50音順・敬称略)

■理事長

青山 幸恭

■業務執行理事

西川 均
(西川 箕乃助)

■理事

田中 正行

登 誠一郎

福田 博

藤間 高子
(藤間 勘祖)

三隅 治雄

水野 豊

■監事

小山敬次郎

半澤 進

■評議員

内堀 祐子
(西川 祐子)

越智 久男

近藤 瑞男

龍居 竹之介

田中 英機

田村 憲
(西川 扇二郎)

中村 作二

藤田 康幸

古井戸 秀夫

丸茂美恵子
(丸茂 祐佳)

令和三年度 正味財産増減計算書 NBF

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	100,000	150,826	△ 50,826	
基本財産受取利息	100,000	150,826	△ 50,826	
② 特定資産運用益	148	774	△ 626	
特定資産受取利息	148	774	△ 626	
③ 受取会費	3,590,000	3,945,000	△ 355,000	
個人会費	2,190,000	2,345,000	△ 155,000	
特別会費	1,400,000	1,600,000	△ 200,000	
④ 事業収益	2,234,200	2,225,800	8,400	
青少年に対する舞踊普及事業収益	18,200	7,800	10,400	
舞踊家の海外派遣及び招聘事業収益	0	0	0	
在日外国人、留学生啓蒙普及事業収益	0	0	0	
自主公演活動事業収益	0	0	0	
日本舞踊の新人養成事業収益	216,000	216,000	0	
講演会の開催事業収益	0	0	0	
日本舞踊に関する広報活動等事業収益	0	0	0	
制作協力等支援事業収益	2,000,000	2,000,000	0	
衣裳楽器等の貸与事業収益	0	2,000	△ 2,000	
⑤ 受取補助金等	415,000	1,258,031	△ 843,031	
受取国庫補助金	415,000	1,258,031	△ 843,031	
⑥ その他収入	627	2,000,625	△ 1,999,998	
受取証券利息	27	25	2	
有価証券運用益	600	600	0	
雑収益計	0	2,000,000	△ 2,000,000	
(2) 経常費用	6,339,975	9,581,056	△ 3,241,081	
① 事業費	5,509,594	6,029,522	△ 519,928	
給料	1,088,639	1,046,337	42,302	
法定通信費	11,939	14,999	△ 3,060	
旅通消耗什耗	38,855	33,042	5,813	
消耗什耗	430,934	383,481	47,453	
印刷費	0	10,030	△ 10,030	
光熱費	18,782	169,141	△ 150,359	
光熱費	86,484	212,245	△ 125,761	
印刷費	553,300	613,195	△ 59,895	
光熱費	0	201	△ 201	
光熱費	40,000	19,600	20,400	
光熱費	2,336,000	1,822,000	514,000	
支払手数料	0	1,230,802	△ 1,230,802	
支払手数料	323,400	0	323,400	
支払手数料	581,261	474,449	106,812	
支払手数料	1,702,060	1,862,899	△ 160,839	
給料	192,121	184,653	7,468	
法定通信費	2,114	2,655	△ 541	
旅通消耗什耗	6,865	5,838	1,027	
消耗什耗	47,486	63,576	△ 16,090	
印刷費	1,354,100	1,421,200	△ 67,100	
光熱費	0	1,770	△ 1,770	
光熱費	3,007	44,636	△ 41,629	
印刷費	15,266	37,455	△ 22,189	
光熱費	0	2,805	△ 2,805	
光熱費	0	51	△ 51	
光熱費	1,700	2,700	△ 1,000	
光熱費	79,401	95,560	△ 16,159	
雑費用計	7,211,654	7,892,421	△ 680,767	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 871,679	1,688,635	△ 2,560,314	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 871,679	1,688,635	△ 2,560,314	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 871,679	1,688,635	△ 2,560,314	
一般正味財産期首残高	111,487,299	109,798,664	1,688,635	
一般正味財産期末残高	110,615,620	111,487,299	△ 871,679	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	110,615,620	111,487,299	△ 871,679	

特別会員 ご芳名

日本舞踊振興財団では、特別賛助会員制度を設け、下記の方々にご支援を
いただいております。是非ご参加をお願い申し上げます。

- ◎会費 1口 10万円(1年間)
- ◎特典 会報のご送付
会報・公演プログラム等にご芳名掲載
財団主催イベントにご招待

飯 田 信 子 (飯田不動産 代表)

西 川 井 扇

飯 田 良 枝

(株)ビデオフォトサイトウ (代表取締役 海老原利明)

(有) かつら大阪屋 (代表取締役 長坂誠一郎)

(株)ホテルオークラ東京 (代表取締役社長 成瀬正治)

歌 舞 伎 座 舞 台 (株)

藪 本 俊 一 (株)古美術藪本 (代表取締役)

(有)ギャラリー竹柳堂 (代表取締役 藤澤繁)

山 本 化 学 工 業 (株) (代表取締役 山本富造)

松 竹 衣 裳 (株) (代表取締役会長 武中雅人)

(株) 吉 岡 (代表取締役 清水喜重郎)

(株) 瀧 川 峰 晴 堂 (代表取締役 瀧川明行)

(50音順・敬称略)

東 京 信 用 金 庫 (理事長 半澤進)

◆財団の趣旨にご賛同いただける方は財団事務局までご連絡ください。特別会員について
ご説明いたします。その上でご希望の方には申し込み書類をお送りさせていただきます。

財団事務局 TEL 03-3354-5496

NBF活動報告

- ◆文化庁伝統文化親子教室—新宿区日本舞踊こども教室
日 時：令和3年10月17日(日)～
令和4年1月16日(日)
会 場：名誉会長西川扇藏宅稽古場 2階
内 容：日本舞踊の基本的な動作、挨拶の仕方を習得。その後概ね1曲を曲に合わせて稽古する。最終日に発表会にて保護者に披露した。
- ◆幼稚園おどり教室
日 時：令和4年2月22日(火)
会 場：東洋英和幼稚園
内 容：幼稚園児を対象に、普段手にすることの少ない邦楽器に触れ日本舞踊に親しんでもらえるような企画である。その後、日本舞踊を上演した。今回はコロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、日本舞踊の上演のみとなった。
- ◆仕舞・狂言教室発表会
日 時：令和4年3月19日(土)
会 場：杉並能楽堂
内 容：1年間の稽古の成果を発表する場機会であるが、能楽堂の舞台で装束をつけての発表会はとても貴重な機会であった。
- ◆宇都宮市日本舞踊鑑賞教室
日 時：令和4年6月14日(火)
会 場：宇都宮市文化会館 小ホール
内 容：宇都宮市内の小学校の児童を対象とした事業。レクチャーを行い「手習い子」「操り三番叟」を上演した。



NBF行事予定

- ◆新宿区「こども体験プログラム」—日本舞踊—
日 時：令和4年8月2日(火)～8月4日(木)
会 場：新宿区四谷地域センター多目的ホール
内 容：新宿区主催のこども達の体験教室
主 催：新宿区
- ◆文化庁伝統文化親子教室—新宿区日本舞踊こども教室
日 時：令和4年10月～
令和5年1月
会 場：新宿区四谷地域センター多目的ホール
内 容：日本舞踊の簡単なレクチャーを行い、その後日本舞踊の曲に合わせて概ね1曲を稽古、仕上げる。
- ◆第55回講演会
日 時：令和5年1月28日(土)
会 場：中央区日本橋公会堂
講 師：(株)松竹衣裳 細田周作氏
- ◆幼稚園おどり教室
日 時：令和5年2月21日(火)
会 場：東洋英和幼稚園
内 容：未就学児及びその保護者を対象として日本舞踊に親しむよう企画。啓蒙活動として行う。



公益財団法人日本舞踊振興財団 「NBF」 No.60

発 行 公益財団法人日本舞踊振興財団
〒162-0066 東京都新宿区市谷台町
8番12号

印 刷 株式会社デイエムピー

発行日 令和4年7月



公益財団法人 日本舞踊振興財団

〒162-0066 東京都新宿区市谷台町 8 番 12 号

TEL : 03-3354-5496

FAX : 03-3353-5634

<http://www.nihonbuyo.or.jp>

E-mail: office@nihonbuyo.or.jp